

	研究名	研究者名	研究者の所属	交付金額(千円)	補助金交付・委託者名
52	放射線照射とゲムシタピン併用時の増感効果の放射線分子生物学的メカニズムの解明	橋本 弥一郎	放射線医学	600	文部科学省 科学研究費補助金
53	低酸素細胞に対する分子標的薬剤の放射線増感に関する基礎的検討	前林 勝也	放射線医学	700	文部科学省 科学研究費補助金
54	1回大線量照射の放射線生物学的・分子生物学的側面からの基礎的検討	関 香織	放射線医学	2,200	文部科学省 科学研究費補助金
55	心電図同期セグメント再構成を併用した256列コーンビームCTによる冠動脈造影	近藤 千里	放射線医学	1,600	文部科学省 科学研究費補助金
56	放射線によるDNA損傷修復に関わる分子を標的にした放射線感受性増感の研究	秋元 哲夫	放射線医学	2,200	文部科学省 科学研究費補助金
57	疼痛認知機構と麻薬・麻酔薬脳内作用部位に関する機能的磁気共鳴画像法による研究	倉田 二郎	麻酔科学	500	文部科学省 科学研究費補助金
58	NF- $\kappa$ Bデコイ型核酸医薬を用いたショックの治療と予防	高田 勝美	麻酔科学	1,500	文部科学省 科学研究費補助金
59	原因不明の溶血性貧血の新たな病因解明	藤井 寿一	輸血・細胞プロセッシング科	1,300	文部科学省 科学研究費補助金
60	膜蒸留技術を利用した濾液再生型在宅血液浄化システムの開発	峰島 三千男	臨床工学科	800	文部科学省 科学研究費補助金
61	透析施設におけるC型肝炎院内感染の状況・予後・予防に関する研究	秋葉 隆	腎センター血液浄化療法科	54,600	厚生労働科学研究費補助金
62	B型及びC型肝炎の疫学及び検診を含む肝炎対策に関する研究	秋葉 隆	腎センター血液浄化療法科	1,000	厚生労働科学研究費補助金
63	多施設協同研究：小児・思春期（若年）発症2型糖尿病の合併症発症率の経年的全国調査	岩本 安彦	糖尿病センター	500	厚生労働科学研究費補助金
64	多施設協同研究：小児・思春期（若年）発症2型糖尿病の合併症発症率の経年的全国調査	内潟 安子	糖尿病センター	6,000	厚生労働科学研究費補助金

	研究名	研究者名	研究者の所属	交付金額(千円)	補助金交付・委託者名
65	植込み型生命維持装置の安全対策に関する研究	笠貫 宏	循環器内科	4,000	厚生労働科学研究費補助金
66	国際的動向を踏まえた医薬品の新たな有効性及び安全評価等に関する研究	笠貫 宏	循環器内科	1,500	厚生労働科学研究費補助金
67	家庭内暴力被害者の自立とその支援に関する研究	加茂 登志子	女性生涯健康センター	300	厚生労働科学研究費補助金
68	医療放射線分野における法令整備等含めた管理体制に関する研究	日下部 きよ子	放射線科	800	厚生労働科学研究費補助金
69	新生児・小児における鎮静薬使用のエビデンスの確立：特にミダゾラムの用法・用量、有効性、安全性の評価	楠田 聡	母子総合医療センター	800	厚生労働科学研究費補助金
70	アウトカムを指標としベンチマーク手法を用いた質の高いケアを提供する「周産期母子医療センターネットワーク」の構築に関する研究	楠田 聡	母子総合医療センター	5,000	厚生労働科学研究費補助金
71	糖尿病における血管合併症の発症予防と進展抑制に関する研究 (JDCStudy)	佐藤 麻子	糖尿病センター	800	厚生労働科学研究費補助金
72	C型肝炎への肝移植後の免疫抑制法に関する研究	寺岡 慧	腎センター外科	1,000	厚生労働科学研究費補助金
73	骨髄異形形成症候群に対する画期的治療法に関する研究	寺村 正尚	血液内科	2,500	厚生労働科学研究費補助金
74	新生児重症心疾患に対する予後向上のためのリアルタイム心エコー動画による遠隔診断と新生児心疾患救急診療システム確立に関する臨床研究	富松 宏文	循環器小児科	1,500	厚生労働科学研究費補助金
75	呼吸不全に関する調査研究	永井 厚志	呼吸器内科	1,500	厚生労働科学研究費補助金
76	第Ⅳ期食道がんに対する標準的治療法の確立に関する研究	中村 努	消化器外科	300	厚生労働科学研究費補助金
77	膵がんに対する補助化学療法に関する研究	羽鳥 隆	消化器外科	900	厚生労働科学研究費補助金

	研究名	研究者名	研究者の所属	交付金額(千円)	補助金交付・委託者名
78	間脳下垂体機能障害に関する調査研究	肥塚 直美	内分泌内科	1,400	厚生労働科学研究費補助金
79	新生児聴覚スクリーニングの効率的実施および早期支援とその評価に関する研究	三科 潤	母子総合医療センター	2,800	厚生労働科学研究費補助金
80	アウトカムを指標としベンチマーク手法を用いた質の高いケアを提供する「周産期母子医療センターネットワーク」の構築に関する研究	三科 潤	母子総合医療センター	4,000	厚生労働科学研究費補助金
81	いじめ、うつ病及び自殺年慮に関する疫学研究に基づく「いじめ」対策プログラムの開発	小平 かやの	小児科学	2,000	(財) 武田科学振興財団
82	TRC法及びOSNA法における胃癌・乳癌の微小転移診断とその臨床応用	山口 昌子	外科学(第二)	2,000	(財) 武田科学振興財団

2 論文発表等の実績(平成18年度)

部署名	タイトル	著者
血液内科学	Clinical features polycythemia vera and essential thrombocythemia in japan ;retrospective analysis of a nationwide survey by japanese Elderly Leukemia and Lymphoma Study Group.. Int J Hematol 83(6):443-449, 2006[原著論文]	Dan K, Yamada T, Kimura Y, Usui N, Okamoto S, Sugihara T, Takai K, Masuda Michihiko, Mori M: Clinical features polycythemia vera and essential thrombocythemia in japan ;retrospective analysis of a nationwide survey by japanese Elderly Leukemia and Lymphoma Study Group.. Int J Hematol 83(6):443-449, 2006[原著論文]
血液内科学	DEMEQ, a new NF-κB inhibitor, induces apoptosis and enhances fludarabine effects on chronic lymphocytic leukemia cells. Leukemia 20: 800-806, 2006[原著論文]	Horie R, Watanabe M, Okamura Takamitsu, Taira M, Shoda M, Motoji Toshiko, Utsunomiya A, Watanabe T, Higashihara M, Umezawa K: DEMEQ, a new NF-κB inhibitor, induces apoptosis and enhances fludarabine effects on chronic lymphocytic leukemia cells. Leukemia 20:800-806, 2006[原著論文]
血液内科学	Clonally expanded T-cells in the peripheral blood of patients with idiopathic thrombocytopenic purpura and Helicobacter pylori infection. Int J Hematol 83:147-151, 2006[原著論文]	Ishiyama Midori, Teramura Masanao, Iwabe Koji, Kato Tomohiro, Motoji Toshiko: Clonally expanded T-cells in the peripheral blood of patients with idiopathic thrombocytopenic purpura and Helicobacter pylori infection. Int J Hematol 83:147-151, 2006[原著論文]
血液内科学	ピロリ菌による特発性血小板減少症の発症機序。臨床免疫・アレルギー科 46:647-652, 2006[原著論文]	石山みどり, 寺村正尚:ピロリ菌による特発性血小板減少症の発症機序。臨床免疫・アレルギー科 46:647-652, 2006[原著論文]
血液内科学	発作性夜間ヘモグロビン尿症診療の参照ガイド。臨床血液 47:215-239, 2006[総説]	小峰光博, 金倉隆, 西村純一, 木下タロウ, 井上篤光, 金丸昭久, 七島勉, 中尾秀孝, 川口辰哉, 中尾眞二, 朝長方左男, 小島勢二, 寺村正尚, 二宮治彦:発作性夜間ヘモグロビン尿症診療の参照ガイド。臨床血液 47:215-239, 2006[総説]
血液内科学	内科疾患最新の治療 専門家からのアドバイス 血液 巨赤芽球性貧血(解説/特集), 内科 97(6):1351-1351, 2006[総説]	増田道彦:内科疾患最新の治療 専門家からのアドバイス 血液 巨赤芽球性貧血(解説/特集), 内科 97(6):1351-1351, 2006[総説]
血液内科学	内科疾患最新の治療 血液 鉄欠乏性貧血, 内科 97(6):1350-1350, 2006[総説]	増田道彦:内科疾患最新の治療 血液 鉄欠乏性貧血, 内科 97(6):1350-1350, 2006[総説]
血液内科学	内科疾患最新の治療 専門家からのアドバイス 血液 二次性貧血, 内科 97(6):1314-1315, 2006[総説]	増田道彦:内科疾患最新の治療 専門家からのアドバイス 血液 二次性貧血, 内科 97(6):1314-1315, 2006[総説]
血液内科学	白血病性幹細胞とCD117抗原『身近な話題-世界の話題(39)』血液フロンティア 16(10):76-80, 2006[総説]	森 直樹:白血病性幹細胞とCD117抗原『身近な話題-世界の話題(39)』血液フロンティア 16(10):76-80, 2006[総説]
血液内科学	再生不良性貧血診療の参照ガイド。臨床血液 47:27-46, 2006[総説]	成田千佐子, 川島 誠, 植垣祐子, 増田道彦, 小林樹雄, 澤田達男:再生不良性貧血診療の参照ガイド。臨床血液 47:27-46, 2006[総説]
血液内科学	ヘアドロキシシウレアによる薬疹の1例。日本皮膚科学会雑誌 116(6):962-962, 2006[症例報告]	成田千佐子, 川島 誠, 植垣祐子, 増田道彦, 小林樹雄, 澤田達男:ヘアドロキシシウレアによる薬疹の1例。日本皮膚科学会雑誌 116(6):962-962, 2006[症例報告]
血液内科学	隆起型を呈した胃 follicular lymphoma の1例, Progress of Digestive Endoscopy 69(2):74-75, 2006[原著論文]	志村和政, 三坂亮一, 古川真衣子, 古市有子, 久保木友子, 堀田順子, 石川尚之, 新見晶子, 重本六男, 大石英人, 前田 淳, 増田道彦, 今村雅夫:隆起型を呈した胃 follicular lymphoma の1例, Progress of Digestive Endoscopy 69(2):74-75, 2006[原著論文]
血液内科学	マントルセルリン腫の治療戦略。Annu Rev 血液 2006:162-169, 2006[総説]	志間雅幸, 栗二登志子:マントルセルリン腫の治療戦略。Annu Rev 血液 2006:162-169, 2006[総説]
血液内科学	Minor population of CD55-CD59- blood cells predicts response to immunosuppressive therapy and prognosis in patients with aplastic anemia.. Blood 107:1308-1314, 2006[原著論文]	Sugimori C, Chuhjo T, Feng X, Yamazaki H, Takami A, Teramura Masanao, Mizoguchi Hideoaki, Omine M, Nakao S: Minor population of CD55-CD59- blood cells predicts response to immunosuppressive therapy and prognosis in patients with aplastic anemia.. Blood 107:1308-1314, 2006[原著論文]
血液内科学	再生不良性貧血-赤芽球病。日本内科学会雑誌 95:2030-2035, 2006[原著論文]	寺村正尚:再生不良性貧血-赤芽球病。日本内科学会雑誌 95:2030-2035, 2006[原著論文]
血液内科学	FLT3 in fused to ETV6 in a myeloproliferative disorder with hyper eosinophilia and a t(12;13)(p13;q12) translocation. Leukemia 20:1414-1421, 2006[原著論文]	Yu HX, Xinh PT, Masuda Michihiko, Motoji Toshiko, Toyoda A, Sakaki Y, Tokunaga K, Sato Y: FLT3 in fused to ETV6 in a myeloproliferative disorder with hyper eosinophilia and a t(12;13)(p13;q12) translocation. Leukemia 20:1414-1421, 2006[原著論文]
血液内科学	Gene expression profiles of CD133-positive fractions predict the survival of individuals with acute myeloid leukemia.. Cancer Genomics proteomics 3:169-182, 2006[原著論文]	Yamashita Y, Ohashi J, Hirai Y, Choi YL, Kaneda R, Fujiwara S, Arai Y, Akutsu M., Tsutsumi C, Miyazaki Y, Usuki K, Teramura Masanao, Mitani K, Kano Y, O' nell MC, Urabe A, Tomonaga M, Ozawa K, Mano H: Gene expression profiles of CD133-positive fractions predict the survival of individuals with acute myeloid leukemia.. Cancer Genomics proteomics 3:169-182, 2006[原著論文]
血液内科学	巨赤芽球性貧血 一般臨床医がよく遭遇する貧血の診かた。診断と治療 94(11):2045-2050, 2006[原著論文]	吉永健太郎:巨赤芽球性貧血 一般臨床医がよく遭遇する貧血の診かた。診断と治療 94(11):2045-2050, 2006[原著論文]
精神医学(神経精神科)	Paroxetine への risperidone 追加投与により躁転を来たしたうつ病の1例。臨床精神薬理 9(5):1115-1120, 2006[症例報告]	榎木あおい, 押原英弘, 坂元眞, 石郷岡純:Paroxetine への risperidone 追加投与により躁転を来たしたうつ病の1例。臨床精神薬理 9(5):1115-1120, 2006[症例報告]
精神医学(神経精神科)	Clozaprineにてactivation syndromeを呈し, fluvoxamineにて改善した強迫性障害の1例。臨床精神薬理 9:551-554, 2006[症例報告]	原田英人, 坂元眞: Clozaprineにてactivation syndromeを呈し, fluvoxamineにて改善した強迫性障害の1例。臨床精神薬理 9:551-554, 2006[症例報告]
精神医学(神経精神科)	これからの抗不安薬。臨床精神薬理 9(12):2439-2447, 2006[総説]	稲田健:これからの抗不安薬。臨床精神薬理 9(12):2439-2447, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	特定の物質の不足ないしは過剰に疾患が由来する病態 ベンゾジアゼピンを含む鎮静・睡眠薬。精神科治療学 21(6x):175-177, 2006[総説]	稲田健, 石郷岡純:特定の物質の不足ないしは過剰に疾患が由来する病態 ベンゾジアゼピンを含む鎮静・睡眠薬。精神科治療学 21(6x):175-177, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	統合失調症に対する aripiprazole の臨床評価-Haloperidol 対照薬とした第Ⅲ相二重盲検比較試験-I。臨床精神薬理 9:295-329, 2006[原著論文]	石郷岡純, 三浦真則, 小山司, 織田勇, 村崎光邦, 八木剛平, 上島園利, 牛島定信:統合失調症に対する aripiprazole の臨床評価-Haloperidol 対照薬とした第Ⅲ相二重盲検比較試験-I。臨床精神薬理 9:295-329, 2006[原著論文]
精神医学(神経精神科)	第二世代抗精神病薬の時代における精神医療-特徴によせて-。最新精神医学 11:5-7, 2006[総説]	石郷岡純:第二世代抗精神病薬の時代における精神医療-特徴によせて-。最新精神医学 11:5-7, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	わが国における aripiprazole の臨床試験成績。臨床精神薬理 9:205-221, 2006[総説]	石郷岡純:わが国における aripiprazole の臨床試験成績。臨床精神薬理 9:205-221, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	抗精神病薬の歴史と展望。臨床精神薬理 9:369-376, 2006[総説]	石郷岡純:抗精神病薬の歴史と展望。臨床精神薬理 9:369-376, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	新規抗うつ薬の本邦市販後における比較-市販後臨床試験, 使用成績調査の結果から-。新薬と臨床 55:470-478, 2006[総説]	石郷岡純:新規抗うつ薬の本邦市販後における比較-市販後臨床試験, 使用成績調査の結果から-。新薬と臨床 55:470-478, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	aripiprazole の本邦における臨床試験成績。臨床精神医学 35:403-413, 2006[総説]	石郷岡純:aripiprazole の本邦における臨床試験成績。臨床精神医学 35:403-413, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	SSRI によるうつ病治療の現状と問題点。臨床精神薬理 9:1407-1423, 2006[総説]	石郷岡純:SSRI によるうつ病治療の現状と問題点。臨床精神薬理 9:1407-1423, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	期待される気分安定薬。臨床精神医学 35:1475-1478, 2006[総説]	石郷岡純:期待される気分安定薬。臨床精神医学 35:1475-1478, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	多剤併用療法は是非論争-Skillful polypharmacy とは何か-。精神科 9:318-323, 2006[総説]	石郷岡純:多剤併用療法は是非論争-Skillful polypharmacy とは何か-。精神科 9:318-323, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	小児熱帯性疾患に対する精神科医からの考察。形成外科 49(8):913-921, 2006[総説]	川本恭子:小児熱帯性疾患に対する精神科医からの考察。形成外科 49(8):913-921, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	熱帯性疾患の精神的問題。MB Med Reha 69:58-64, 2006[総説]	川本恭子:熱帯性疾患の精神的問題。MB Med Reha 69:58-64, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	腎移植。精神科治療学 21(増刊号):92-93, 2006[総説]	小林清香, 松本秀孝, 西村治彦, 堀川直史:腎移植。精神科治療学 21(増刊号):92-93, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	高齢者におけるサイコエデュケーション。老年精神医学雑誌 17(3):267-271, 2006[総説]	小林清香, 堀川直史:高齢者におけるサイコエデュケーション。老年精神医学雑誌 17(3):267-271, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	Risperidone により急速な改善が見られた急性一過性精神病性障害の1例。臨床精神薬理 9:1277-1281, 2006[症例報告]	小峰光博, 坂元眞: Risperidone により急速な改善が見られた急性一過性精神病性障害の1例。臨床精神薬理 9:1277-1281, 2006[症例報告]
精神医学(神経精神科)	自殺企図後に身体疾患を併発し, 症状が改善したうつ病の1例。臨床精神薬理 9:157-161, 2006[症例報告]	松本有紀子, 坂元眞:自殺企図後に身体疾患を併発し, 症状が改善したうつ病の1例。臨床精神薬理 9:157-161, 2006[症例報告]
精神医学(神経精神科)	Disability and patient's appraisal of general health contribute to depressed mood in rheumatoid arthritis in a large clinical study in Japan. Mod Rheumatol 16:151-157, 2006[原著論文]	Nakajima Ayako, Kamitsuji Shigeo, Saito Akira, Tanaka Eiichi, Nishimura Katsuji, Horikawa Naoshi, Ozaki Norio, Tomatsu Taisuke, Hara Masako, Kamatani Neoyuki, Yamanaka Hisashi: Disability and patient's appraisal of general health contribute to depressed mood in rheumatoid arthritis in a large clinical study in Japan. Mod Rheumatol 16:151-157, 2006[原著論文]
精神医学(神経精神科)	精神症状とサイコネプロロジー。腎と透析 61(4):545-548, 2006[総説]	堀川直史, 小林清香, 大村裕紀子, 國保圭介, 松本麻紀, 内田貴光, 松本秀孝, 岸泰宏:精神症状とサイコネプロロジー。腎と透析 61(4):545-548, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	腎移植患者の心理-精神症状とその対応。今日の移植 19(4):363-369, 2006[総説]	堀川直史, 小林清香:腎移植患者の心理-精神症状とその対応。今日の移植 19(4):363-369, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	第二世代抗精神病薬の副作用(脳血管障害を含む)。最新精神医学 11:39-44, 2006[総説]	西村治彦, 石郷岡純:第二世代抗精神病薬の副作用(脳血管障害を含む)。最新精神医学 11:39-44, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	慢性閉塞性肺病。症状性(器質性)精神病の診療ガイドライン。精神科治療学 21(増刊号):72-73, 2006[総説]	西村治彦:慢性閉塞性肺病。症状性(器質性)精神病の診療ガイドライン。精神科治療学 21(増刊号):72-73, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	その他の膠原病, 症状性(器質性)精神病の診療ガイドライン。精神科治療学 21(増刊号):74-75, 2006[総説]	西村治彦:その他の膠原病, 症状性(器質性)精神病の診療ガイドライン。精神科治療学 21(増刊号):74-75, 2006[総説]

部署名	タイトル	著者
精神医学(神経精神科)	せん妄の回復過程にみられた緊要病性語音迷状にolanzapineが有効した1例。臨床精神薬理 9:805-809, 2006[症例報告]	奥津裕美, 坂元薫;せん妄の回復過程にみられた緊要病性語音迷状にolanzapineが有効した1例。臨床精神薬理 9:805-809, 2006[症例報告]
精神医学(神経精神科)	抗うつ薬の用法, その使い方と変え方 SNRIとその他の新規抗うつ薬。臨床精神薬理 9(4):587-592, 2006[総説]	押川英弘, 坂元薫;抗うつ薬の用法, その使い方と変え方 SNRIとその他の新規抗うつ薬。臨床精神薬理 9(4):587-592, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	ベンゾジアゼピンと認知機能。臨床精神医学 35(12):1659-1662, 2006[総説]	押川英弘, 稲田健, 石塚岡純;ベンゾジアゼピンと認知機能。臨床精神医学 35(12):1659-1662, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	m-ECTが著効した後、睡眠した83歳の治療抵抗性うつ病の1例。臨床精神医学 35(9):1201-1206, 2006[症例報告]	押川英弘, 稲田健, 坂元薫, 石塚岡純;m-ECTが著効した後、睡眠した83歳の治療抵抗性うつ病の1例。臨床精神医学 35(9):1201-1206, 2006[症例報告]
精神医学(神経精神科)	統合失調症と強迫性障害の併発に対するperospironeとparoxetineのaugmentation効果-安全性とアドヒアランスを視野に入れた薬物療法-。臨床精神薬理 9(12):2457-2464, 2006[原著論文]	大下 隆司;統合失調症と強迫性障害の併発に対するperospironeとparoxetineのaugmentation効果-安全性とアドヒアランスを視野に入れた薬物療法-。臨床精神薬理 9(12):2457-2464, 2006[原著論文]
精神医学(神経精神科)	臨床試験から見た精神科薬物療法の限界-うつ病, 統合失調症の海外データを中心に-。臨床精神薬理 9(9):1745-1752, 2006[総説]	大下 隆司, 石塚岡 純;臨床試験から見た精神科薬物療法の限界-うつ病, 統合失調症の海外データを中心に-。臨床精神薬理 9(9):1745-1752, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	Arripirazoleへの期待-「病因・自己治療力モデル」でドパミン仮説を考える-。臨床精神薬理 9(11):2221-2227, 2006[総説]	大下 隆司;Arripirazoleへの期待-「病因・自己治療力モデル」でドパミン仮説を考える-。臨床精神薬理 9(11):2221-2227, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	統合失調症治療の新しい可能性:アリピプラゾールの登場を迎えて-急性期治療の対応-。脳21 9(11):438-443, 2006[総説]	大下 隆司;統合失調症治療の新しい可能性:アリピプラゾールの登場を迎えて-急性期治療の対応-。脳21 9(11):438-443, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	老年期のうつ。医薬ジャーナル 42:137-140, 2006[総説]	坂元薫;老年期のうつ。医薬ジャーナル 42:137-140, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	内科医のための脳疾患診療うつ病その I。Brain Medical 18:192-196, 2006[総説]	坂元薫;内科医のための脳疾患診療うつ病その I。Brain Medical 18:192-196, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	内科医のための脳疾患診療うつ病その II。Brain Medical 18:290-294, 2006[総説]	坂元薫;内科医のための脳疾患診療うつ病その II。Brain Medical 18:290-294, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	アリピプラゾール, クリニカルプラクティス 25:978-980, 2006[総説]	島田栄子, 石塚岡純;アリピプラゾール, クリニカルプラクティス 25:978-980, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	東京女子医科大学病院神経精神科における電気けいれん療法の実験。臨床精神医学 35:1309-1314, 2006[原著論文]	高橋孝子, 坂元薫, 木内雄二郎, 石塚岡純;東京女子医科大学病院神経精神科における電気けいれん療法の実験。臨床精神医学 35:1309-1314, 2006[原著論文]
精神医学(神経精神科)	Switching to risperidone after unsuccessful treatment of olanzapine in the first-episode schizophrenia. An open trial. Prog. Neuro-Psychopharmacol. Biol. Psychiat. 30:1067-1072, 2006[原著論文]	Takahashi,H., Yoshida,K., Ishigooka,J., Higuchi,H.; Switching to risperidone after unsuccessful treatment of olanzapine in the first-episode schizophrenia. An open trial. Prog. Neuro-Psychopharmacol. Biol. Psychiat. 30:1067-1072, 2006[原著論文]
精神医学(神経精神科)	Switching to olanzapine after unsuccessful treatment with risperidone during the first-episode schizophrenia. An open-label trial. J. Clin. Psychiatry 67:1577-1582, 2006[原著論文]	Takahashi,H., Kameta, M., Yoshida,K., Ishigooka,J., Higuchi,H.; Switching to olanzapine after unsuccessful treatment with risperidone during the first-episode schizophrenia. An open-label trial. J. Clin. Psychiatry 67:1577-1582, 2006[原著論文]
精神医学(神経精神科)	統合失調症治療薬の現状。臨床精神薬理 9:17-21, 2006[総説]	富高辰一郎, 石塚岡純;統合失調症治療薬の現状。臨床精神薬理 9:17-21, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	これからの抗精神病薬。最新精神医学 11:29-32, 2006[総説]	富高辰一郎, 石塚岡純;これからの抗精神病薬。最新精神医学 11:29-32, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	月経とメンタルヘルス。性差と医療 3(6):647-651, 2006[総説]	内出容子, 加茂志子;月経とメンタルヘルス。性差と医療 3(6):647-651, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	非定型抗精神病薬。心療内科 10(2):85-89, 2006[総説]	内出容子, 富高辰一郎, 石塚岡純;非定型抗精神病薬。心療内科 10(2):85-89, 2006[総説]
精神医学(神経精神科)	Sulpiride中止により長期のパーキンソン症候群ともなるうつ状態が改善した老年期うつ病の1例。臨床精神薬理 9:353-357, 2006[症例報告]	安来大輔, 坂元薫, 石塚岡純;Sulpiride中止により長期のパーキンソン症候群ともなるうつ状態が改善した老年期うつ病の1例。臨床精神薬理 9:353-357, 2006[症例報告]
精神医学(神経精神科)	多剤大量療法の現状と改善への取り組み。最新精神医学 11:19-27, 2006[総説]	吉岡正哉, 石塚岡純;多剤大量療法の現状と改善への取り組み。最新精神医学 11:19-27, 2006[総説]
小児科学	Beta-blocker therapy for cardiac dysfunction in patients with muscular dystrophy.. Circ J 70(8):991-994, 2006[原著論文]	Ishigaki Koiko, Saito Kayoko, Osawa Makiko;Beta-blocker therapy for cardiac dysfunction in patients with muscular dystrophy.. Circ J 70(8):991-994, 2006[原著論文]
小児科学	小児気管支喘息の薬物療法における適正使用ガイドライン。厚生労働省医薬食品局安全対策課平成17年度研究 主任研究者:西岡三暉 16(4):274-276, 2006[研究報告]	Ogami Hirokazu;小児気管支喘息の薬物療法における適正使用ガイドライン。厚生労働省医薬食品局安全対策課平成17年度研究 主任研究者:西岡三暉 16(4):274-276, 2006[研究報告]
小児科学	R270X変異を認め早期に Rett 症候群と診断された1例。日見誌 110(3):450-452, 2006[症例報告]	宇杉朋子, 中野和俊, 斎藤加代子, 大塚映子, 武藤順子, 勝藤 宏, 林 北見, 大澤真木子, 近藤郁子;R270X変異を認め早期に Rett 症候群と診断された1例。日見誌 110(3):450-452, 2006[症例報告]
小児科学	日本小児神経学会・日本小児心身医学会・日本小児精神神経学会合同による向精神薬を主としたプラリオリテリストの作成(日本小児神経学会・日本小児心身医学会・日本小児精神神経学会合同研究)。厚生労働科学研究補助金 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業 小児等の特殊患者群に対する医薬品の有効性、安全性情報の収集とそれらの情報に基づくリスク評価・管理手法に関する研究 平成17年度研究報告書 主任研究者:松田一郎;853-936, 2006[研究報告]	石崎優子, 富島 祐, 大澤真木子, 林 北見, 深井善光, 永井 章, 田中英高, 宮地英士;日本小児神経学会・日本小児心身医学会・日本小児精神神経学会合同による向精神薬を主としたプラリオリテリストの作成(日本小児神経学会・日本小児心身医学会・日本小児精神神経学会合同研究)。厚生労働科学研究補助金 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業 小児等の特殊患者群に対する医薬品の有効性、安全性情報の収集とそれらの情報に基づくリスク評価・管理手法に関する研究 平成17年度研究報告書 主任研究者:松田一郎;853-936, 2006[研究報告]
小児科学	小児等の特殊患者群に対する医薬品の有効性、安全性情報の収集とそれらの情報に基づくリスク評価・管理手法に関する研究(日本小児神経学会・日本小児心身医学会・日本小児精神神経学会合同研究)。厚生労働科学研究補助金 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業 小児等の特殊患者群に対する医薬品の有効性、安全性情報の収集とそれらの情報に基づくリスク評価・管理手法に関する研究 平成17年度研究報告書 主任研究者:松田一郎;9, 2006[研究報告]	富島 祐, 石崎優子, 大澤真木子, 林 北見, 深井善光, 田中英高, 永井 章, 宮地英士;小児等の特殊患者群に対する医薬品の有効性、安全性情報の収集とそれらの情報に基づくリスク評価・管理手法に関する研究(日本小児神経学会・日本小児心身医学会・日本小児精神神経学会合同研究)。厚生労働科学研究補助金 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業 小児等の特殊患者群に対する医薬品の有効性、安全性情報の収集とそれらの情報に基づくリスク評価・管理手法に関する研究 平成17年度研究報告書 主任研究者:松田一郎;9, 2006[研究報告]
小児科学	Syndromer des crises benignes du nourrisson. Epilepsias 18(1):8-23, 2006[原著論文]	福山幸夫, 坂元薫;Syndromer des crises benignes du nourrisson. Epilepsias 18(1):8-23, 2006[原著論文]
小児科学	合併症まで含め予防接種を論じる視点が重要(小児科のインフルエンザ合併症対策)。MMJ 2(3):141-143, 2006[原著論文]	伊藤 真, 大澤真木子;合併症まで含め予防接種を論じる視点が重要(小児科のインフルエンザ合併症対策)。MMJ 2(3):141-143, 2006[原著論文]
小児科学	小児科におけるAD/HD診断治療ガイドライン作成について (特集 第47回日本小児神経学会総会)。脳と発達38(8):141-143, 2006[原著論文]	林 北見, 田中英高, 富島 祐, 齋藤万比古, 小平かやの, 山下裕史朗;小児科におけるAD/HD診断治療ガイドライン作成について(特集 第47回日本小児神経学会総会)。脳と発達38(8):141-143, 2006[原著論文]
小児科学	無題。T(図書館月報(47)):2-2, 2006[研究報告]	林 北見;無題。T(図書館月報(47)):2-2, 2006[研究報告]
小児科学	テオフィリンの適応、使用法について-小児神経の立場からの見解- (意見・異見 テオフィリン関連けいれん)。小児科臨床 59(2):259-264, 2006[原著論文]	平野善子;テオフィリンの適応、使用法について-小児神経の立場からの見解- (意見・異見 テオフィリン関連けいれん)。小児科臨床 59(2):259-264, 2006[原著論文]
小児科学	急性散在性脳脊髄炎について。CLINICIAN 53(7):34-36, 2006[原著論文]	平野善子;急性散在性脳脊髄炎について。CLINICIAN 53(7):34-36, 2006[原著論文]
小児科学	急性散在性脳脊髄炎。小児疾患の診断治療基準 第3版 小児内科・小児外科編編集委員会共編。小児内科 38(増刊):688-689, 2006[総説]	平野善子;急性散在性脳脊髄炎。小児疾患の診断治療基準 第3版 小児内科・小児外科編編集委員会共編。小児内科 38(増刊):688-689, 2006[総説]
小児科学	Altered glycosylation of $\alpha$ -dystroglycan in neurons of Fukuyama congenital muscular dystrophy brains. Brain Res(1075):223-228, 2006[原著論文]	池谷純代子;Altered glycosylation of $\alpha$ -dystroglycan in neurons of Fukuyama congenital muscular dystrophy brains. Brain Res(1075):223-228, 2006[原著論文]
小児科学	インフォームド・コンセント。小児科診療 69(Suppl):5-8[原著論文]	池谷純代子;インフォームド・コンセント。小児科診療 69(Suppl):5-8[原著論文]
小児科学	TRH therapy in a patient with juvenile Alexander disease. Brain Dev(28):663-667, 2006[原著論文]	Ishigaki Koiko, Ito Yasushi, Kodaira Kayano, Funatsuka Makoto, Hattori Nozomi, Nakano Kazutoshi, Saito Kayoko, Osawa Makiko;TRH therapy in a patient with juvenile Alexander disease. Brain Dev(28):663-667, 2006[原著論文]
小児科学	TRH therapy in a patient with juvenile Alexander disease. Brain Dev(28):663-667, 2006[原著論文]	Ishigaki Koiko, Ito Yasushi, Kodaira Kayano, Funatsuka Makoto, Hattori Nozomi, Nakano Kazutoshi, Saito Kayoko, Osawa Makiko;TRH therapy in a patient with juvenile Alexander disease. Brain Dev(28):663-667, 2006[原著論文]
小児科学	ヘルパンギーナ。INFECTIOUS DISEASES REPORT2006(35), 2006[研究報告]	尾本克二, 大澤真木子;ヘルパンギーナ。INFECTIOUS DISEASES REPORT2006(35), 2006[研究報告]
小児科学	慢性疾患を抱える子どもたちのこころの問題 - 神経疾患を中心に -。小児内科 38(1):63-66, 2006[原著論文]	小平かやの;慢性疾患を抱える子どもたちのこころの問題 - 神経疾患を中心に -。小児内科 38(1):63-66, 2006[原著論文]
小児科学	Creatine monohydrate therapy in a Leigh syndrome Patient with A8344G mutation.. Pediatr Int(48):409-412, 2006[原著論文]	Komura Kiyomi, Nakano Kazutoshi, Ishigaki Koiko, Tarashima Mikako, Nakayama Tomohiro, Sasaki Kaori, Saito Kayoko, Osawa Makiko;Creatine monohydrate therapy in a Leigh syndrome Patient with A8344G mutation.. Pediatr Int(48):409-412, 2006[原著論文]
小児科学	染色体異常とてんかん。日見誌 110(9):1183-1192, 2006[原著論文]	松尾真朗, 清水玲子, 小園弘哉, 大澤真木子;染色体異常とてんかん。日見誌 110(9):1183-1192, 2006[原著論文]
小児科学	急性小脳失調症 小児疾患の診断治療基準 第3版 小児内科・小児外科編編集委員会共編。小児内科 38(増刊):686-687, 2006[総説]	溝口枝里子, 伊藤 康, 大澤真木子;急性小脳失調症 小児疾患の診断治療基準 第3版 小児内科・小児外科編編集委員会共編。小児内科 38(増刊):686-687, 2006[総説]
小児科学	Fukutin Gene Mutations Cause Dilated Cardiomyopathy with Minimal Muscle Weakness. Ana of Neurol 60(5):597-602, 2006[原著論文]	村上てるみ, Hayashi K. Y, Noguchi S, Ogawa M, Nonaka I, Tanabe Y, Ogino M, Takada F, Eriguchi M, Kotooka N, Campbell P.K, 大澤真木子, Nishino I;Fukutin Gene Mutations Cause Dilated Cardiomyopathy with Minimal Muscle Weakness. Ana of Neurol 60(5):597-602, 2006[原著論文]